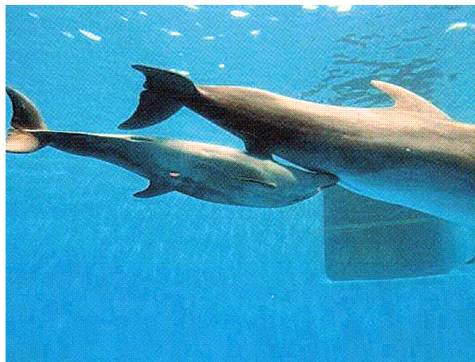
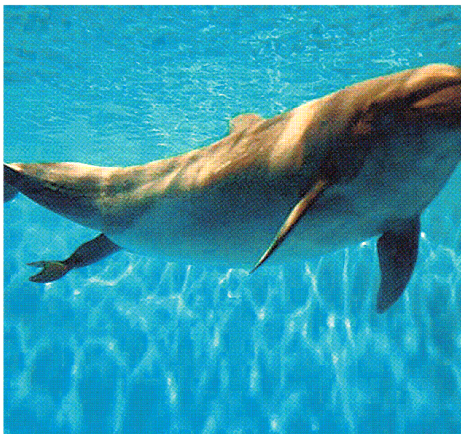




⑤ハンドウイルカの出産で赤ちゃんの尾びれが出た状態。この後生まれる⑥母イルカと一緒に泳ぎ、母乳を飲む赤ちゃんイルカ



ハンドウイルカ

学名 *Tursiops truncatus*

分類	鯨偶蹄目マイルカ科
分布	温帯から熱帯の海域に広く分布し、鹿児島県沿岸域でも見られる
大きさ	体長は雄270～340センチ、雌は260～320センチに達する
食性	魚類、イカ・タコ類
特徴	海で生活する哺乳類で通常は1頭を出産し、母乳で子育てする。頭部にある鼻を水面に出して空気を取り込み、肺を使って呼吸する。体表には毛はなく、ゴムのようにツルツルしている。胸びれ、背びれ、尾びれの3種類がある。尾びれは、前へ進むのに使い、上下に動かし泳ぐ。最速で時速30～40キロ。寿命は30～40年ほどといわれる。

尾びれから生まれる

ハンドウイルカは別名バンドウイルカとも呼ばれ、日本の多くの水族館で飼育されています。かごしま水族館はこの夏、雌の「カール」の出産を控えています。

ハンドウイルカは別名バンドウイルカとも呼ばれ、日本の多くの水族館で飼育されています。かごしま水族館はこの夏、雌の「カール」の出産を控えています。

の体温は下がる傾向があります。普段36℃～37度ある体温が35度台を示すといよいよ出産です。母イルカは陣痛に耐えているためか、体を何度もうるの字に曲げて力を入れます。しばらくすると、肛門の近くの生殖孔から、赤ちゃんの尾びれが出てきます。イルカは人間という逆子の

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

獣展示係長・吉田明彦

状態です。母イルカはしばらくの間、尾びれが出たまま泳ぎます。すると赤ちゃんの尾びれが、泳ぐことができるくらいにしっかりと出てきます。それまで出たり入ったりを繰り返していた赤ちゃんの体が、今まで以上に大きく出ました。赤ちゃんの誕生です。

赤ちゃんは、生まれてすぐに水面まで泳ぎ、呼吸をします。その後、母イルカのそばを泳ぎ、おっぱいを探します。赤ちゃんの中には母乳が飲めずに死んでしまうこともあり、水族館では24時間態勢で観察を続けます。赤ちゃんが泳ぎながら母乳を飲むようになります。安心です。

夏に生まれる命が無事に育つよう、万全の態勢で臨みたいと思います。(展示課海